

IT活用実態に関するアンケート 調査結果 報告書

名古屋商工会議所
情報化推進委員会

目次

1. アンケート調査の概要	1
(1) 調査目的 (2) 調査対象 (3) 調査期間 (4) 調査方法 (5) 調査結果	
2. 回答企業の属性	2~3
(1) 業種・資本金・従業員数 (2) 関連企業・取引企業・海外取引	
3. 経営状況と経営課題	4~6
(1) 売上傾向・収支状況 (2) 経営課題 (3) 人手不足の状況	
4. IT活用の実態	7~14
(1) 自社公式ホームページの活用状況 (2) ITツール、サービスの活用状況 (3) IT活用の現況 (4) 基幹業務のIT化 (5) クラウド活用状況 (6) 情報セキュリティ対策 (予防対策・事故対策) (7) IT化の契機・外部支援者、相談者	
5. IT化の一層の推進	15~20
(1) IT化の理想像・IT化自己診断 (2) ITを導入、活用するうえでの課題 (3) IoT、AI等最新技術の活用状況、利用意向 (4) IT推進における情報収集手段 (5) IT化における自社内推進者 (6) 記入者の所属組織・IT化に向けて行政や会議所に求めること	
6. 調査票	21~23

凡例

資料中のグラフ・表については、特に記載が無いものはS A（該当する選択肢の中から一つだけ回答）。
その他は以下の記載のとおり。

MA

該当する選択肢は全て回答

3つまで

該当する選択肢の中から3つまで回答

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

昨今、多くの事業者は、生産年齢人口の減少に伴う人手不足という経営課題に直面しており、短期的な解決が困難な状況の中、人手不足を前提とした経営の合理化や生産性の向上が求められる。その有効な対策の一つとして期待されるのがITの活用であり、IT導入を促す支援策の必要性は益々高まっている。

そこで、より実効性のある支援策を検討する上で、現在の事業者のIT活用の実態や課題を把握するため、本アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

- ・名古屋商工会議所会員企業 7,000社
(従業員数3名以上、団体、支店、農業・漁業を除く、株式及び有限会社 9,544社から抽出)
- ・回答数 1,006社 (回収率14.3%)

(3) 調査期間

2018年12月7日～12月28日

(4) 調査方法

郵送による調査票の送付、FAX・Webフォームによる回答

(5) 調査結果

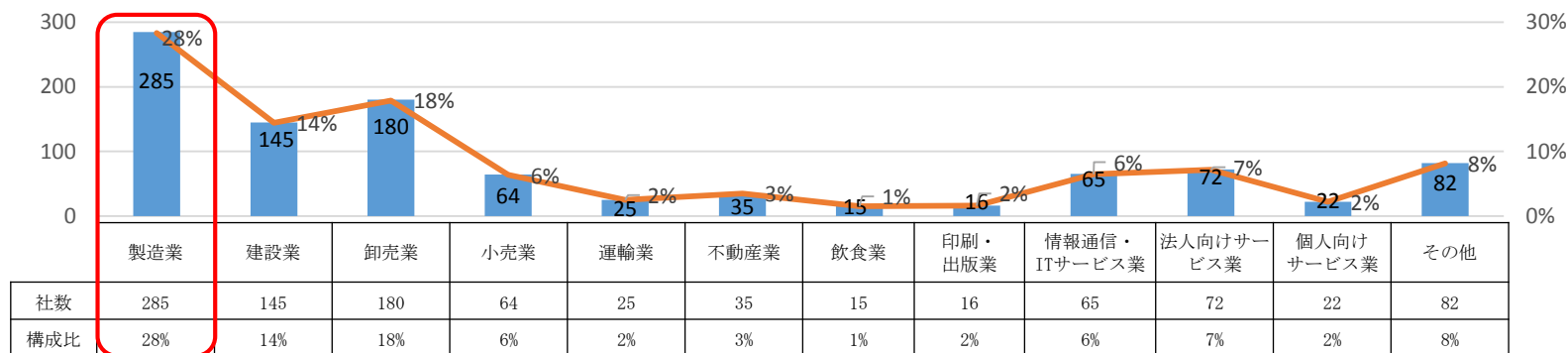
本稿以下のとおり。

なお、集計データの構成比は小数点以下四捨五入のため、合計は必ずしも100%にはならない場合がある。

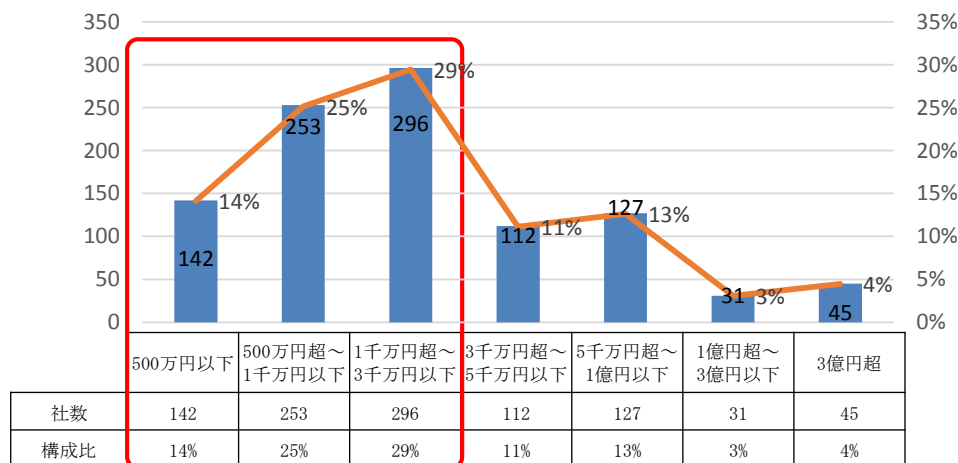
2. 回答企業の属性 (1) 業種・資本金・従業員数

- (1) 業種：「製造業」からの回答が最も多く（285社・28%）、次いで「卸売業」（180社・18%）、「建設業」（145社・14%）であった。
- (2) 資本金：「3千万円以下」の企業が全体の68%
- (3) 従業員数：「50人以下」の企業が全体の72%

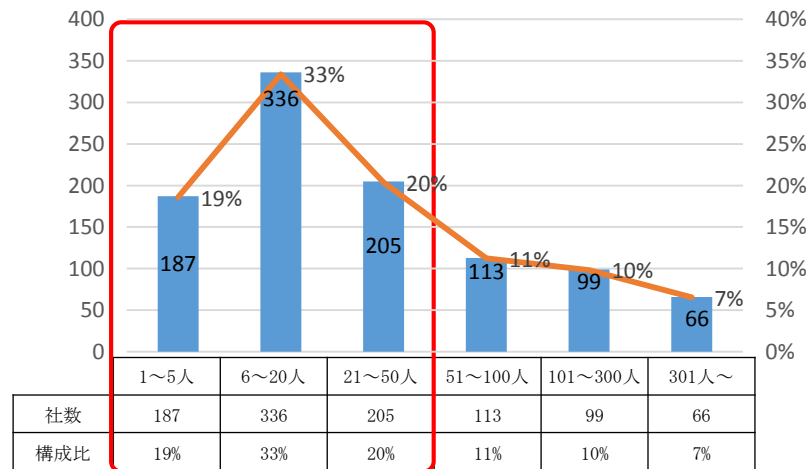
(1) 業種 (n=1,006)



(2) 資本金 (n=1,006)



(3) 従業員数 (n=1,006)



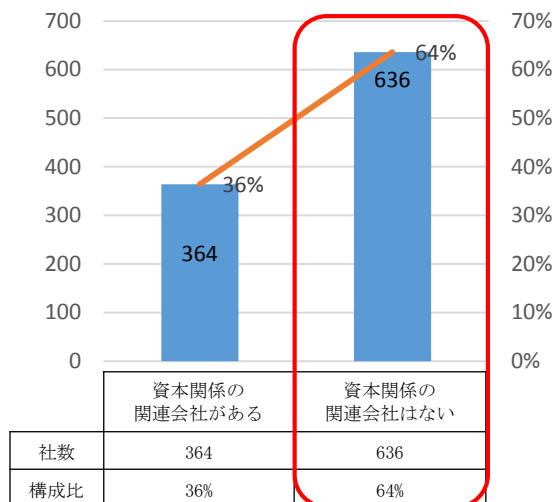
2. 回答企業の属性 (2) 関連企業・取引企業・海外取引

(4) 関連企業：「資本関係の関連会社はない」が全体の64%

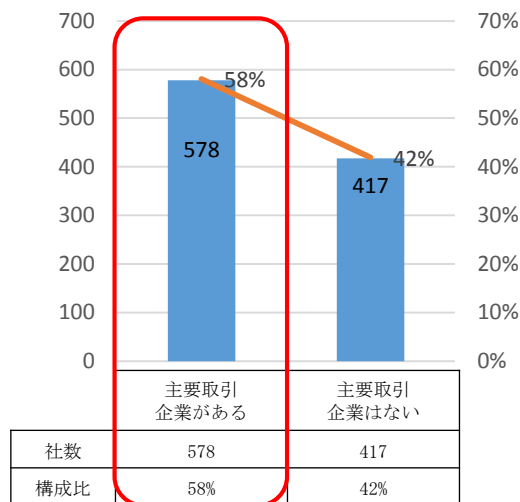
(5) 取引企業：売上高の2割を超える「主要取引企業がある」が全体の58%

(6) 海外取引：輸出入を行っているのは1割程度、海外との取引を行っていない企業が全体の74%

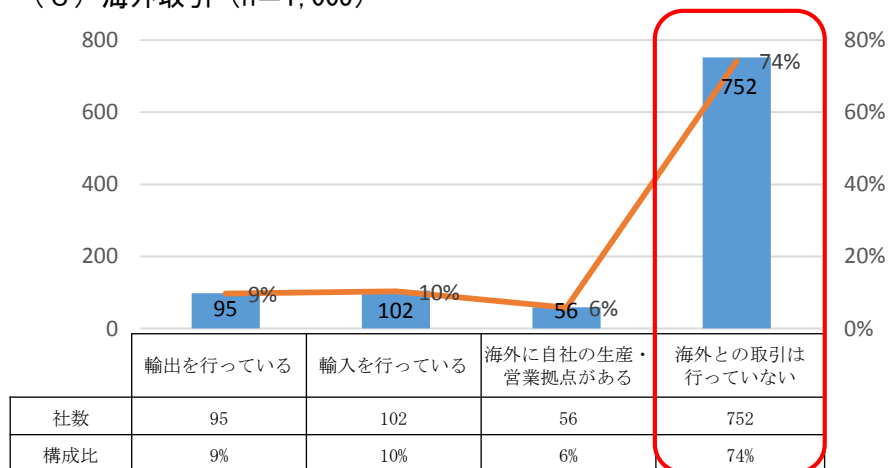
(4) 資本関係のある関連企業の有無 (n=1,000)



(5) 取引企業（売上高の2割を超える主要取引企業の有無） (n=995)



(6) 海外取引 (n=1,005)

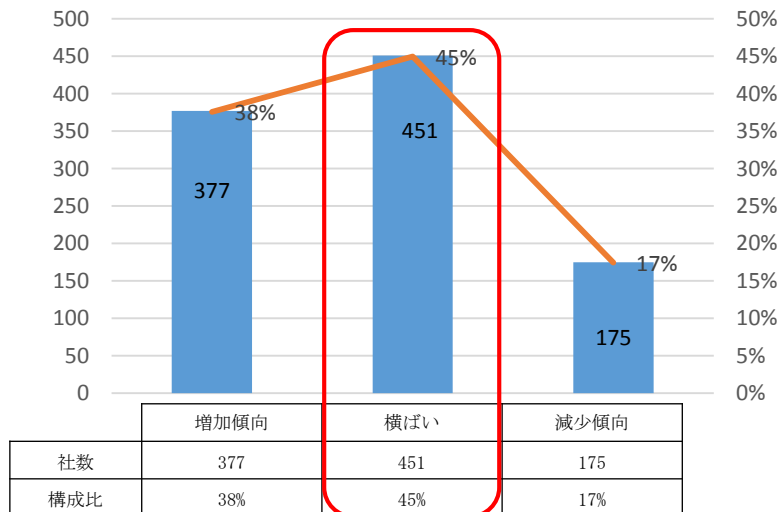


3. 経営状況と経営課題 (1) 売上傾向・収支状況

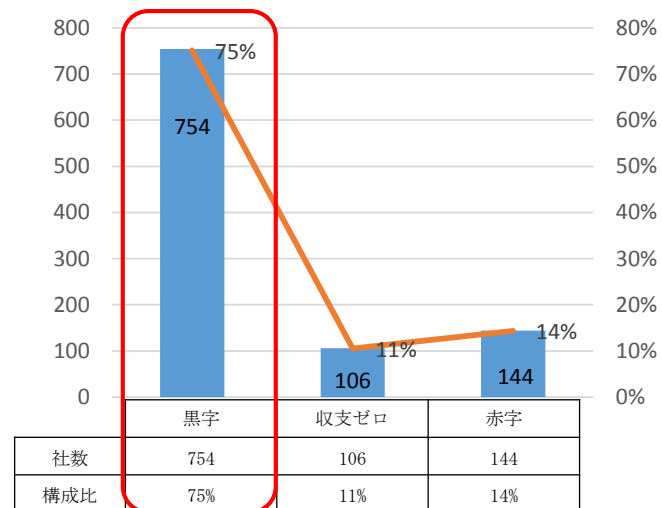
(7) 売上傾向：「横ばい」が最も多く全体の45%

(8) 収支状況：「黒字」企業が全体の75%

(7) 売上傾向 (過去3年間) (n=1,003)



(8) 収支状況 (経常利益) (n=1,004)

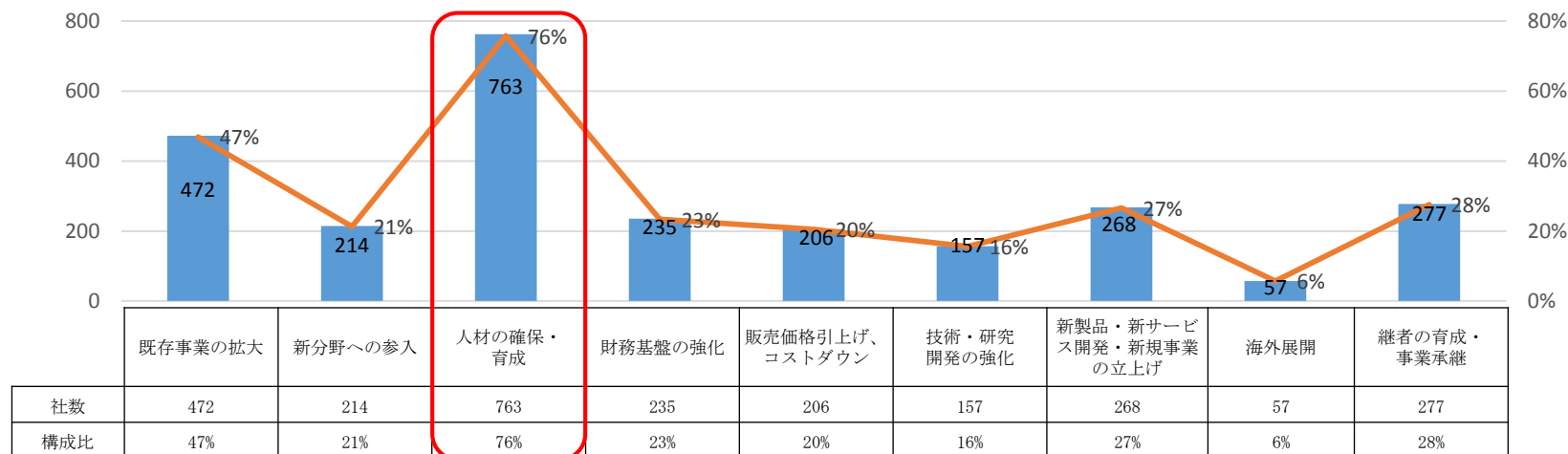


3. 経営状況と経営課題 (2) 経営課題

(9) 経営課題：「人材の確保・育成」が最も多く(763社・76%) 次いで「既存事業の拡大」(472社、47%)
 (9-1) 従業員規模別では、「人材確保・育成」が最も高い割合であるが、従業員規模が小さいほど「財務基盤の強化」や「後継者の育成・事業承継」を課題として挙げる企業が多い。

(9) 経営課題 (n=1,006)

3つまで



(9-1) 従業員規模別 経営課題 (n=1,006)

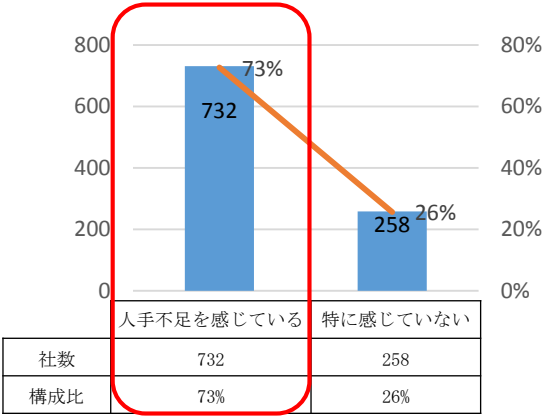
3つまで

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
既存事業の拡大	49%	48%	45%	45%	46%	47%	47%
新分野への参入	18%	24%	27%	19%	15%	15%	21%
人材の確保・育成	50%	80%	79%	89%	88%	77%	76%
財務基盤の強化	31%	26%	20%	21%	14%	12%	23%
販売価格引上げ、コストダウン	23%	16%	22%	21%	22%	27%	20%
技術・研究開発の強化	12%	14%	16%	13%	20%	30%	16%
新製品・新サービス開発・新規事業の立上げ	27%	25%	27%	28%	25%	32%	27%
海外展開	4%	3%	5%	4%	14%	15%	6%
後継者の育成・事業承継	28%	34%	27%	21%	23%	11%	28%
その他	6%	0%	0%	1%	3%	3%	2%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

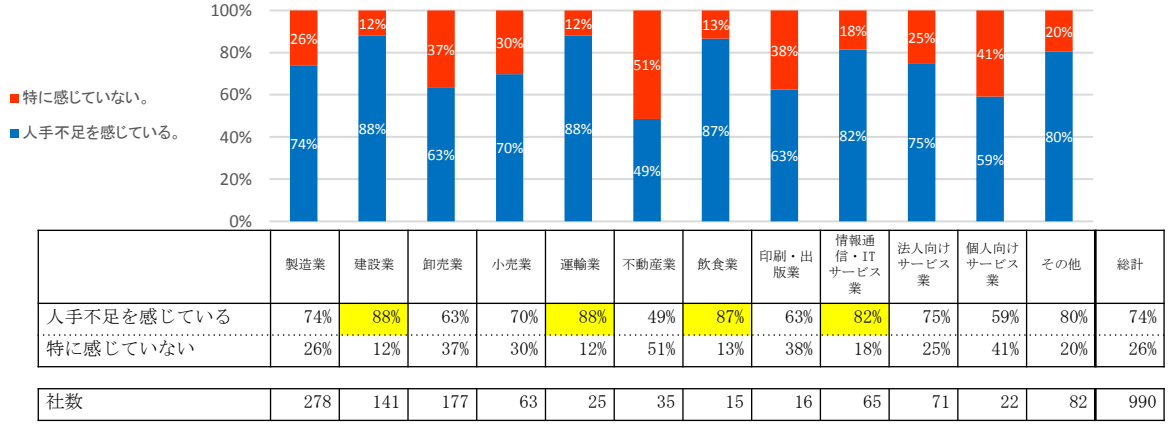
3. 経営状況と経営課題 (3) 人手不足の状況

- (10) 人手不足と感じている企業は732社(73%)であった。
- (10-1) 業種別では、建設業、運輸業、飲食業、情報通信・ITサービス業の人手不足感の傾向が高い。
- (10-2) 従業員規模別では、従業員規模が大きいほど、人手不足感を感じている。
- (11) 不足している人材を尋ねたところでは、「労働人材」が347社(47%)、「中核人材」が330社(45%)であった。

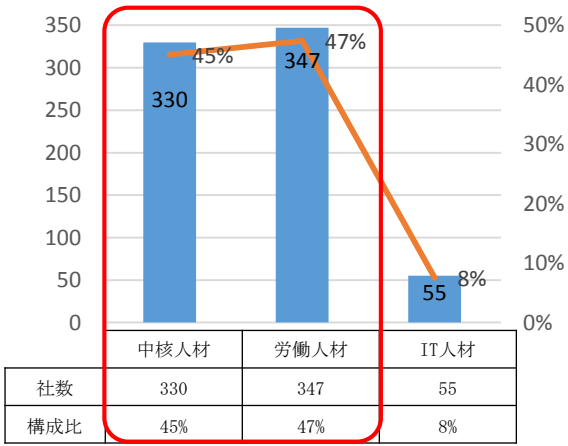
(10) 人手不足感 (n=990)



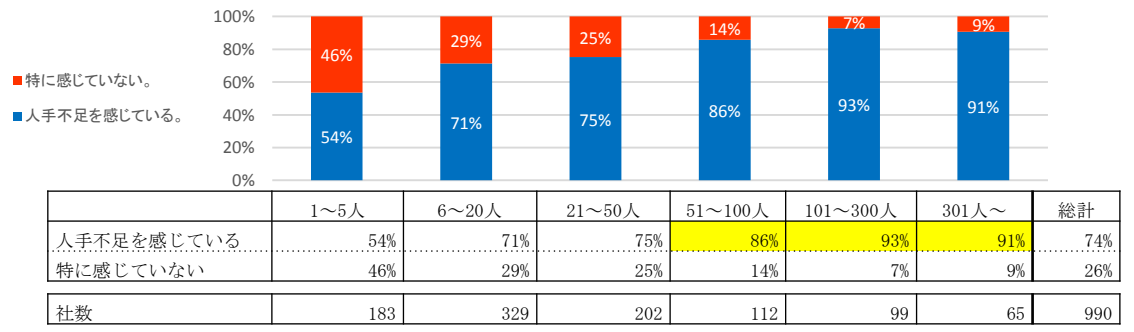
(10-1) 業種別 人手不足感 (n=990)



(11) 不足している人材 (n=732)



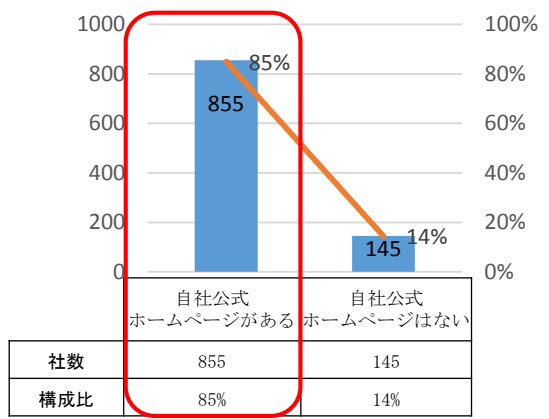
(10-2) 従業員規模別 人手不足感 (n=990)



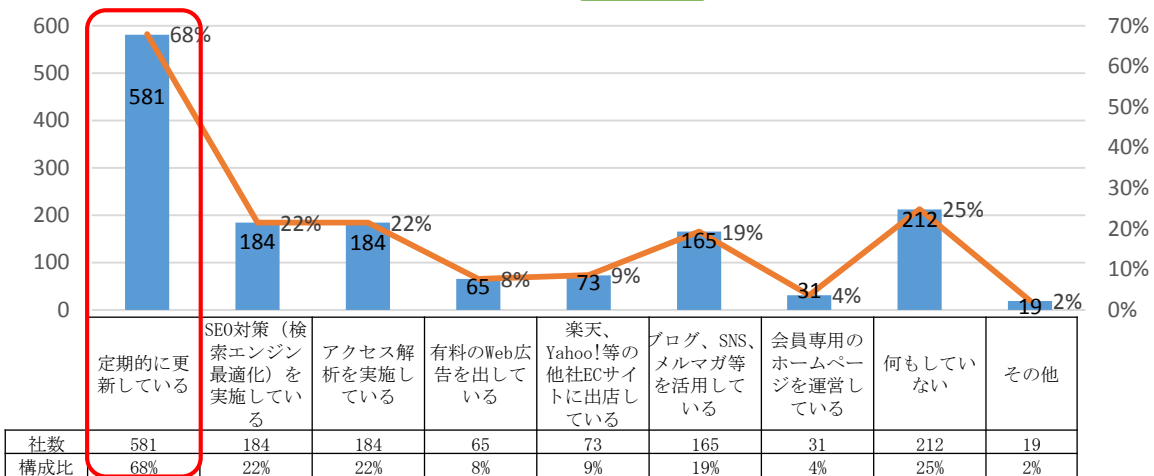
4. IT活用の実態 (1) 自社公式ホームページの活用状況

- (12) 自社公式ホームページを有する企業は855社 (85%)
- (13) ホームページの活用状況を尋ねたところ、「定期的に更新している」が581社 (68%)、「何もしていない」は、2番目に多い212社 (25%)
- (12-1) 従業員規模別では、規模が大きい企業ほどホームページを持ち、従業員5人以下の企業の35%はホームページを持たない。
- (12-2) 同様に、規模が小さい企業ほど、ホームページを作成し、何もしていない企業が多い。

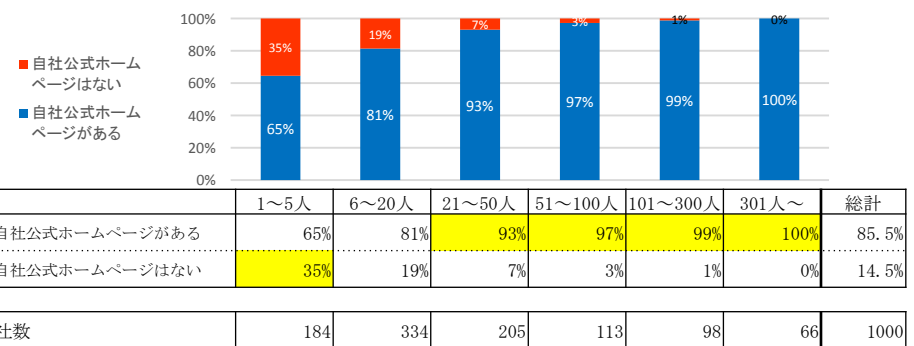
(12) 自社公式ホームページの有無 (n=1,000)



(13) ホームページの活用状況 (n=855) MA



(12-1) 従業員規模別 自社公式ホームページの有無 (n=1,000)



(13-1) 従業員規模別 ホームページの活用状況 (n=855) MA

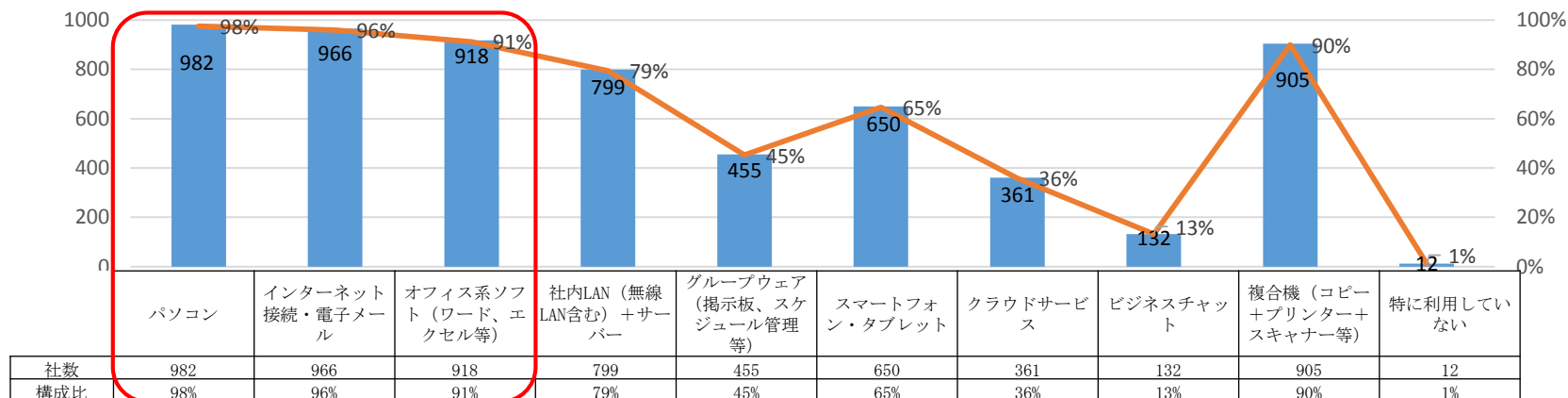
	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
定期的に更新している	59%	56%	72%	75%	77%	97%	68%
SEO対策 (検索エンジン最適化) を実施している	23%	20%	20%	17%	25%	33%	22%
アクセス解析を実施している	21%	17%	19%	18%	30%	41%	22%
有料のWeb広告を出している	8%	8%	7%	5%	6%	14%	8%
楽天、Yahoo!等の他社ECサイトに店舗している	13%	8%	5%	15%	5%	8%	9%
ブログ、SNS、メルマガ等を活用している	25%	19%	15%	17%	18%	26%	19%
会員専用のホームページを運営している	2%	4%	4%	2%	4%	9%	4%
何もしていない	31%	36%	27%	15%	9%	2%	25%
その他	1%	1%	3%	2%	6%	0%	2%
社数	119	272	191	110	97	66	855

4. IT活用の実態 (2) ITツール、サービスの活用状況

(14) 「パソコン」、「インターネット接続・電子メール」、「オフィス系ソフト」の活用は9割を超える。「スマートフォン、タブレット」の活用も6割を超え、情報端末の導入は進んでいる。「特に利用していない」は12社(1%)と極めて低い。

(14-1) クラウドサービスの活用は、従業員規模が大きいほど、導入が進んでいる。

(14) ITツール、サービスの活用状況 (n=1,006) MA



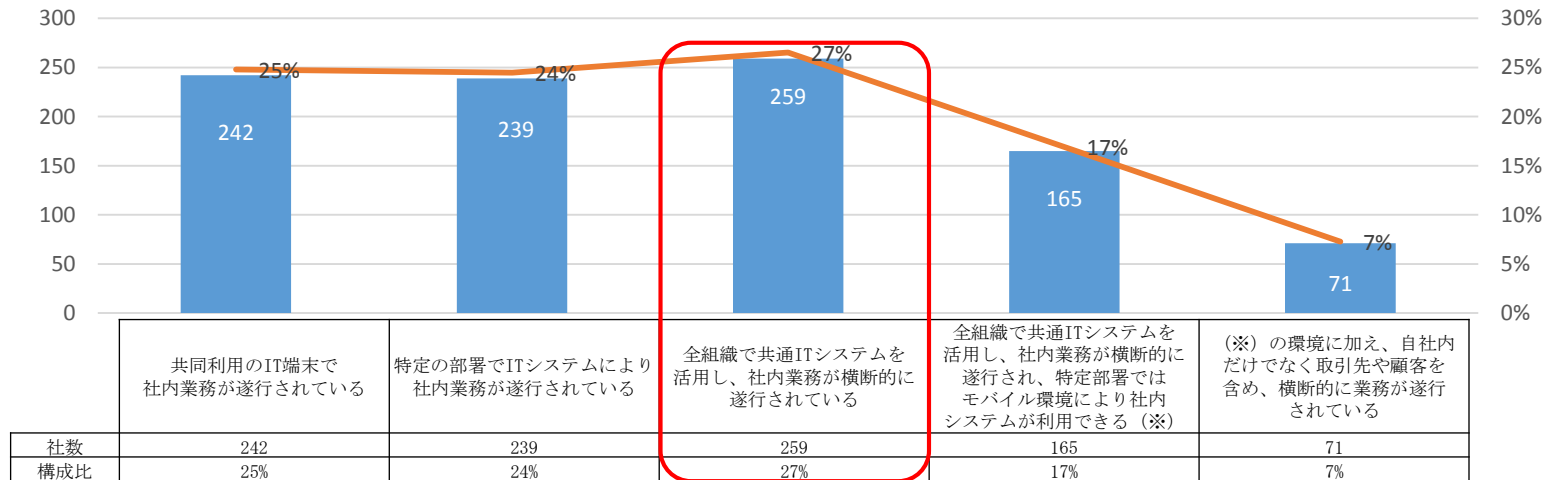
(14-1) 従業員規模別 ITツール、サービスの活用状況 (n=1,006) MA

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
パソコン	95%	98%	97%	99%	100%	100%	98%
インターネット接続・電子メール	91%	96%	98%	97%	98%	100%	96%
オフィス系ソフト (ワード、エクセル等)	80%	90%	95%	96%	99%	100%	91%
社内LAN (無線LAN含む) + サーバー	59%	75%	84%	93%	97%	97%	79%
グループウェア (掲示板、スケジュール管理等)	22%	35%	45%	63%	71%	94%	45%
スマートフォン・タブレット	66%	59%	60%	68%	75%	79%	65%
クラウドサービス	28%	31%	35%	40%	46%	64%	36%
ビジネスチャット	17%	11%	11%	17%	11%	17%	13%
複合機 (コピー+プリンター+スキャナー等)	85%	89%	89%	95%	96%	97%	90%
特に利用していない	3%	2%	0%	0%	0%	0%	1%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

4. IT活用の実態 (3) IT活用の現況

(15) IT活用状況は、全組織で共通のITシステムを利用している企業が最も多い259社(27%)

(15) IT活用状況 (n=976)



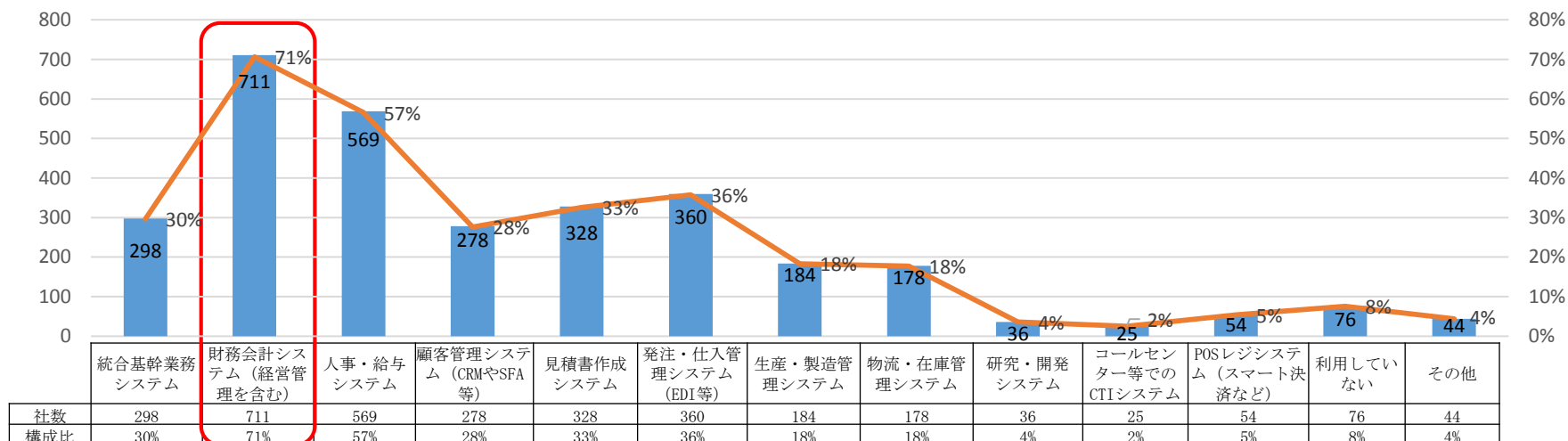
4. IT活用の実態 (4) 基幹業務のIT化

(16) 基幹業務のIT化は、「財務会計システム」711社(71%)、「人事・給与システム」569社(57%)の総務管理系システムのIT化が進む一方、「顧客管理システム(CRMやSFA等)」の導入は遅れている。

(16-1) 従業員20人以下の企業も「財務会計システム」の活用5割~6割、「見積書作成システム」の活用が3割を超える。また、従業員5人以下の企業の18%、20人以下の企業の11%が利用していない。

(16) 基幹業務のIT化 (n=1,006)

MA



(16-1) 従業員規模別 基幹業務のIT化 (n=1,006)

MA

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
統合基幹業務システム	12%	23%	33%	38%	45%	65%	30%
財務会計システム (経営管理を含む)	51%	62%	80%	88%	89%	86%	71%
人事・給与システム	25%	46%	64%	76%	87%	95%	57%
顧客管理システム (CRMやSFA等)	19%	24%	30%	33%	33%	50%	28%
見積書作成システム	32%	37%	34%	31%	15%	41%	33%
発注・仕入管理システム (EDI等)	19%	29%	43%	44%	48%	61%	36%
生産・製造管理システム	4%	12%	24%	29%	34%	33%	18%
物流・在庫管理システム	4%	13%	23%	27%	26%	36%	18%
研究・開発システム	6%	2%	1%	4%	0%	18%	4%
コールセンター等でのCTIシステム	1%	1%	1%	3%	4%	17%	36%
POSレジシステム (スマート決済など)	4%	4%	4%	4%	12%	14%	18%
利用していない	18%	11%	2%	1%	0%	0%	18%
その他	5%	4%	3%	5%	5%	9%	4%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

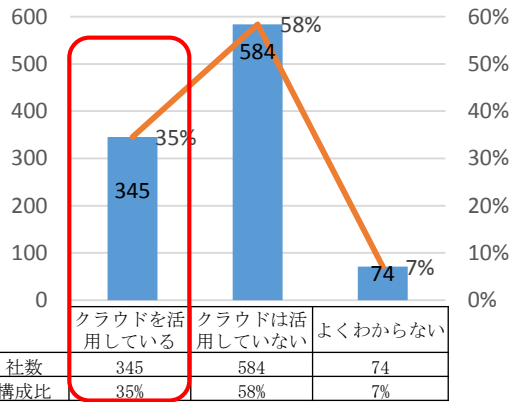
4. IT活用の実態 (5) クラウド活用状況 1 / 2

(17) クラウドを活用している企業は345社 (35%)

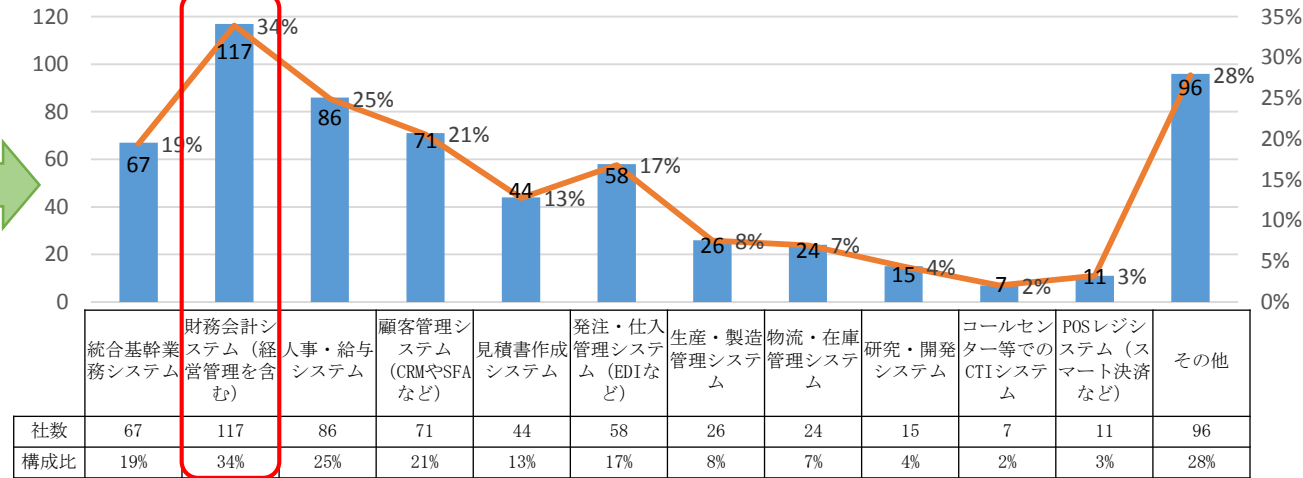
(18) 「財務会計システム」導入企業が最も多く117社 (34%)、次いで「人事・給与システム」導入企業86社 (25%)、「顧客管理システム」71社 (21%)、その他96社 (28%)の多くは、Office365の導入であった。

(19) クラウドを活用している理由は、「どこでもサービス利用できる」が最も多く177社 (51%)、次いで「資産、保守体制を持つ必要がない」が126社 (37%)、「初期導入コストが安価である」が116社 (34%)であった。

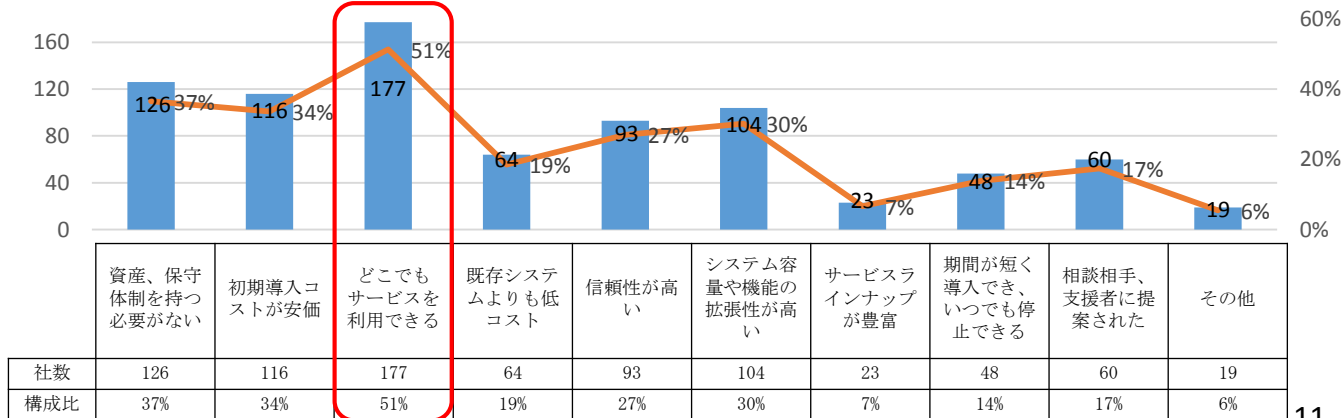
(17) クラウド活用状況 (n=1,000)



(18) 基幹業務システムのクラウド活用状況 (n=345)



(19) クラウドを活用している理由 (n=345)

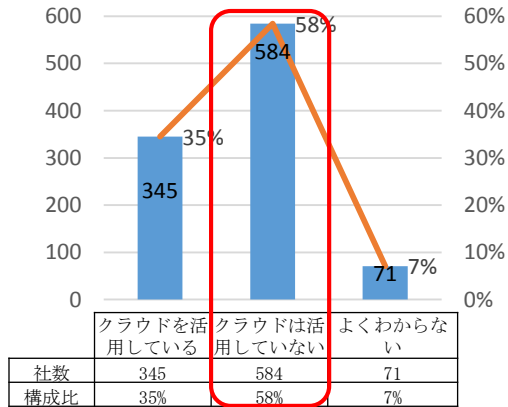


4. IT活用の実態 (5) クラウド活用状況 2/2

(17) クラウド活用している企業は345社 (35%)

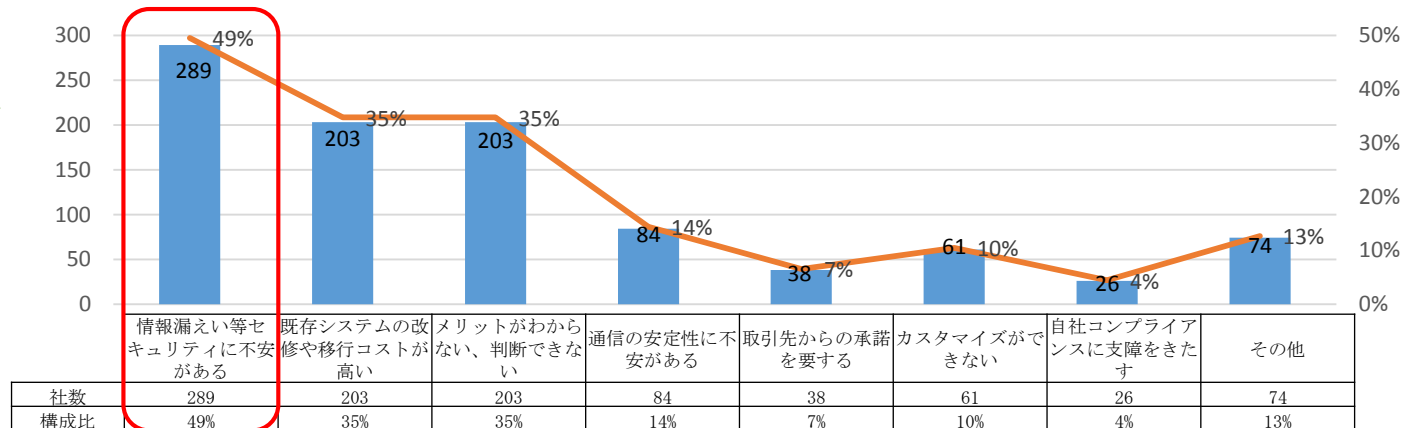
(20) クラウドを活用していない理由は、「情報漏えい等セキュリティに不安がある」が最も多く289社 (49%)、次いで「既存システムの改修や移行コストが高い」、「メリットがわからない、判断できない」が203社 (35%)であった。

(17) クラウド活用状況 (n=1,000)



(20) クラウドを活用していない理由 (n=345)

MA

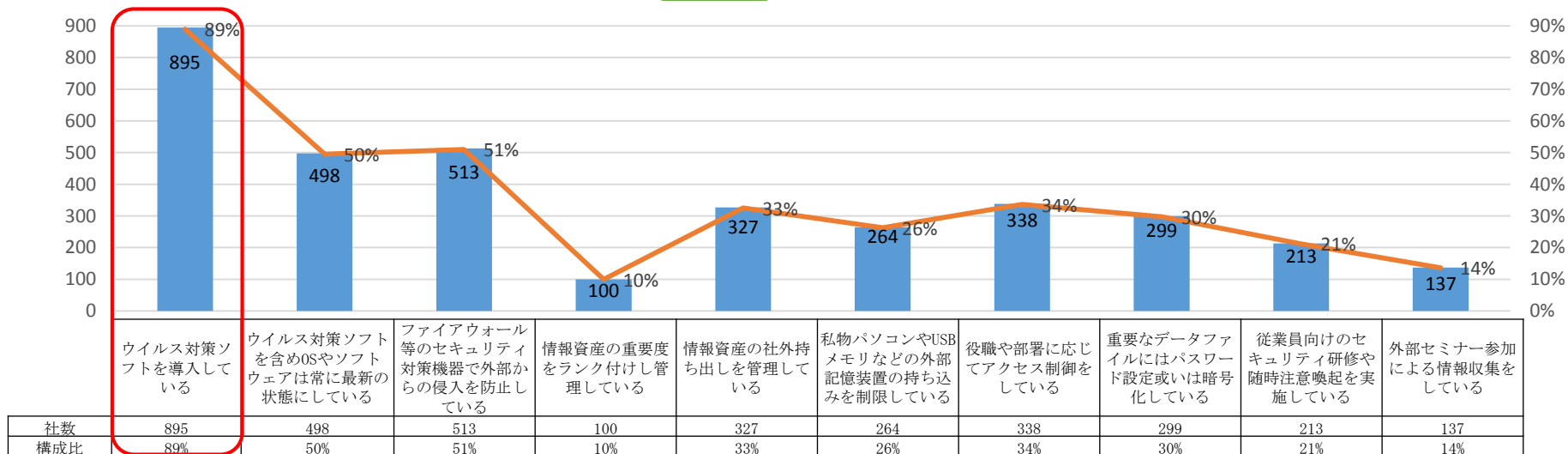


4. IT活用の実態 (6) 情報セキュリティ対策 (予防対策・事故対策)

- (21) 情報セキュリティ対策 (予防対策) は、「ウイルス対策ソフトを導入している」が最も多く895社 (89%) の一方で、「ウイルス対策ソフトを含めOSやソフトウェアは常に最新の状態にしている」は498社 (50%) にとどまる。
- (22) 情報セキュリティ対策 (事故対策) は、「情報管理責任者を配置している」が最も多く525社 (52%)、次いで「情報漏えい等発生時の対策支援先や相談先を把握している」が324社 (32%)。未回答が224社 (22%) で「何もしていない」が多かったものと推察される。

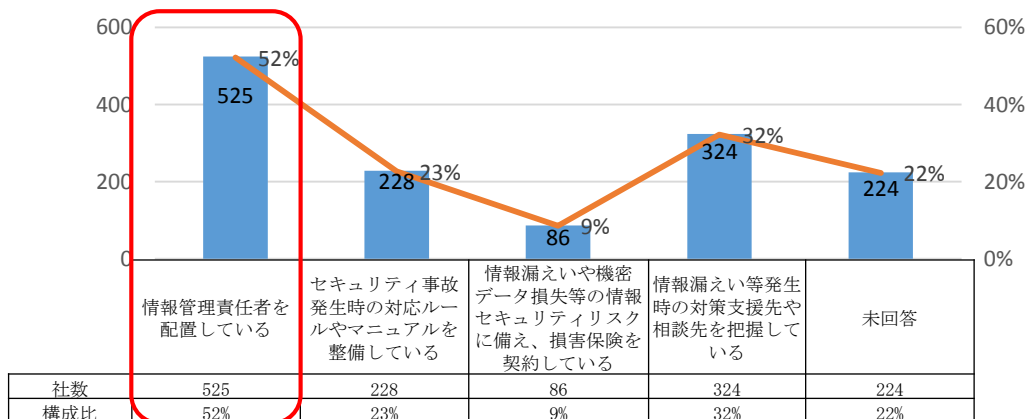
(21) 情報セキュリティ対策 (予防対策) (n=1,006)

MA



(22) 情報セキュリティ対策 (事故対策) (n=782)

MA



4. IT活用の実態 (7) IT化の契機・外部支援者、相談者

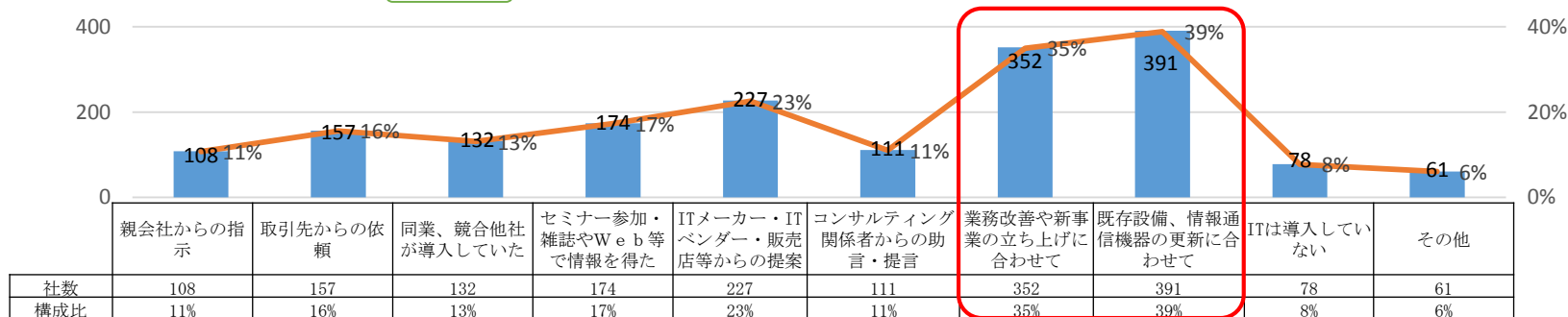
(23) IT化の契機は、「既存設備、情報通信機器の更新に合わせて」と回答した企業が最も多い391社(39%)、次いで「業務改善や新事業の立ち上げに合わせて」が、352社(35%)

(24) 外部支援者、相談者は、ITベンダーが多く、次いでコンサルティング関係者であった。

(24-1) 従業員数5人以下の企業の35%、20人以下の企業19%は相談相手がない。

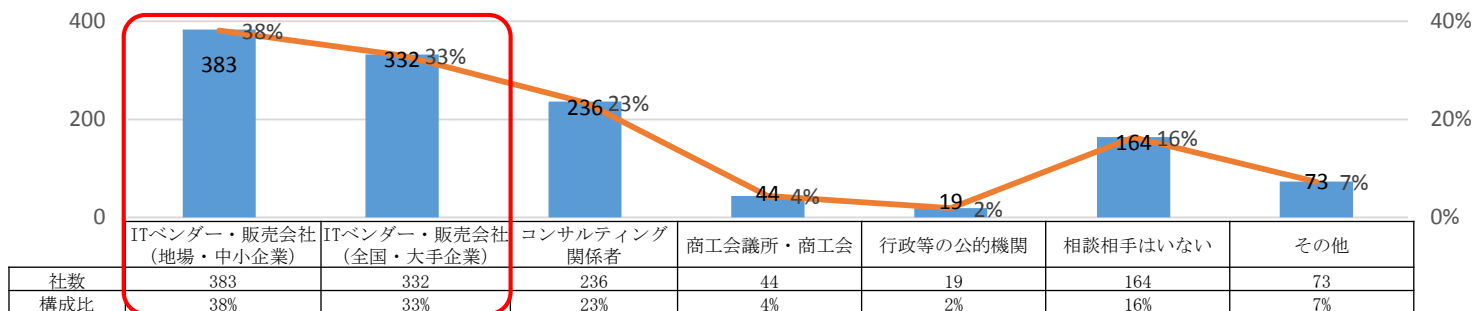
(23) IT化の契機 (n=1,006)

MA



(24) IT化における外部支援者、相談者 (n=1,006)

MA



(24-1) 従業員規模別 IT化における外部支援者・相談者 (n=1,006)

MA

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
ITベンダー・販売会社(地場・中小企業)	20%	39%	44%	42%	47%	44%	38%
ITベンダー・販売会社(全国・大手企業)	17%	20%	35%	50%	56%	76%	33%
コンサルティング関係者 (中小企業診断士・ITコーディネーター・公認会計士・税理士含む)	30%	23%	24%	17%	22%	20%	23%
商工会議所・商工会	7%	7%	3%	1%	1%	0%	4%
行政等の公的機関	2%	1%	3%	1%	2%	3%	2%
相談相手はいない	35%	19%	11%	4%	4%	3%	16%
その他	10%	5%	5%	11%	9%	9%	7%

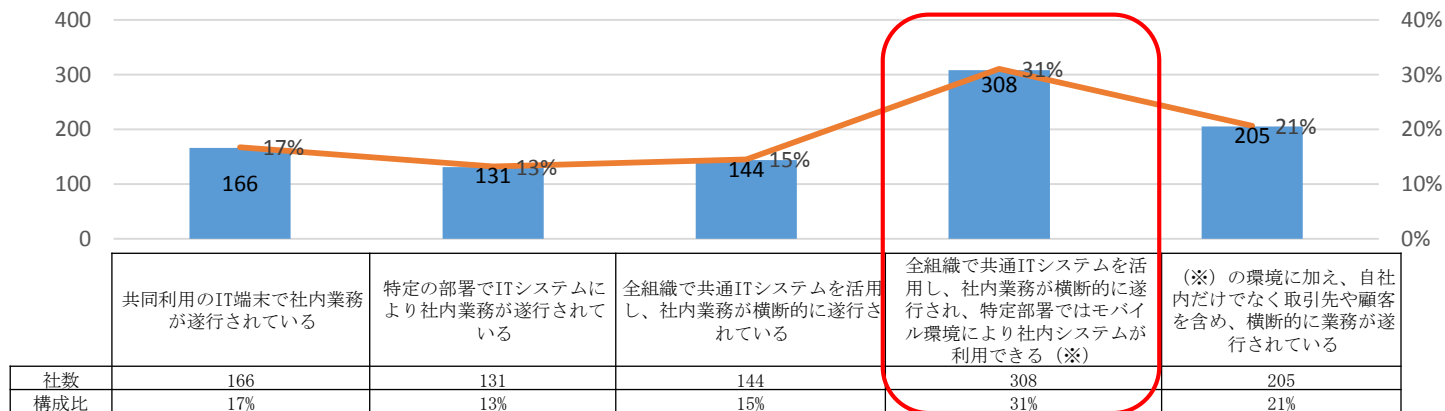
社数	187	336	205	113	99	66	1006
----	-----	-----	-----	-----	----	----	------

5. IT化の一層の推進 (1) IT化の理想像・IT化自己診断

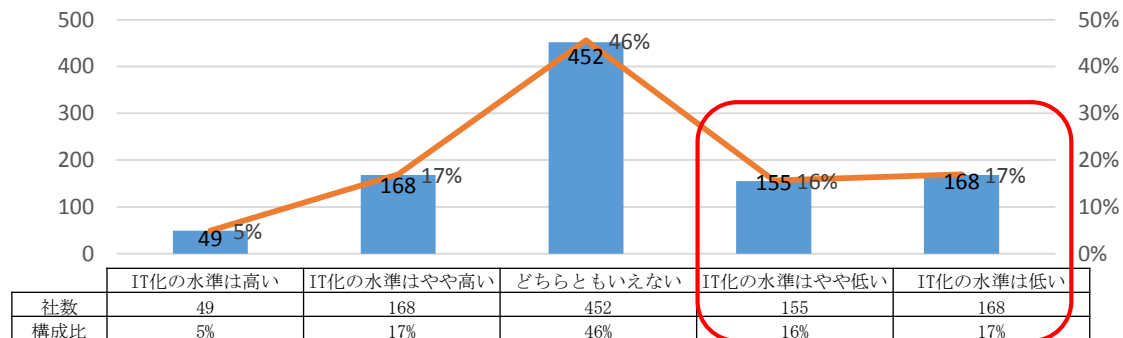
(25) IT化の理想像：全組織で共通ITシステムを活用、特定部署ではモバイル環境の利用を理想とする企業が最も多い308社(31%)

(26) IT化自己診断：「IT化の水準はやや低い」、「水準は低い」と回答した企業が323社(33%)であった。

(25) IT化の理想像 (n=954)



(26) IT化自己診断 (n=992)

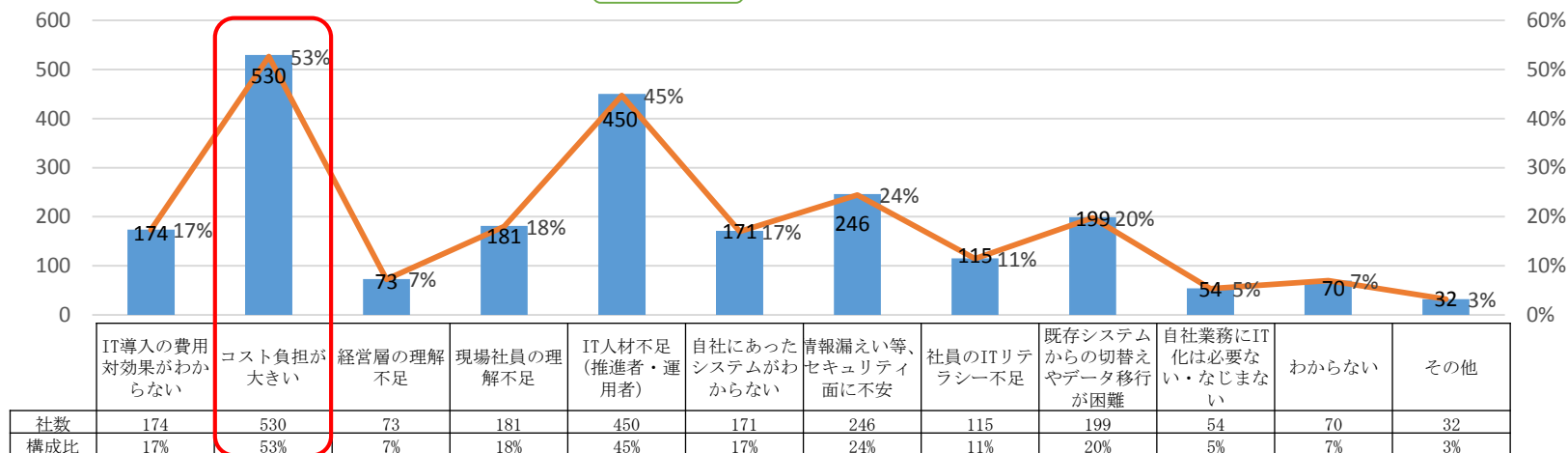


5. IT化の一層の推進 (2) ITを導入・活用するうえでの課題

(27) ITを導入・活用するうえでの課題は、「コスト負担が大きい」と回答した企業が530社(53%)、次いで「IT人材不足」が450社(45%)

(27-1) 従業員数100人以下の企業では、「自社にあったシステムがわからない」が多く、20人以下の企業では、「自社業務にIT化は必要ない・なじまない」、「わからない」と挙げている企業が多い。

(27) ITを導入・活用するうえでの課題 (n=1,006) 3つまで



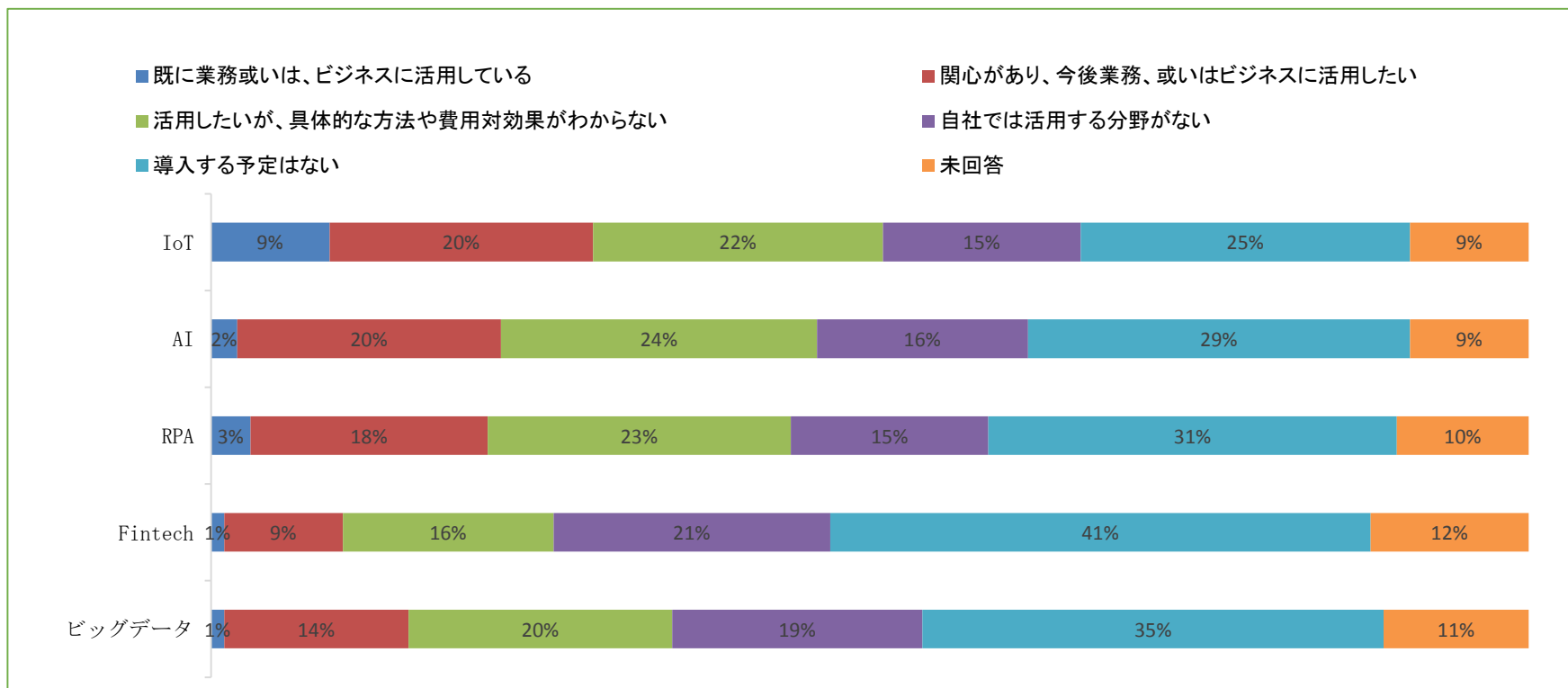
(27-1) 従業員規模別 ITを導入・活用するうえでの課題 (n=1,006) 3つまで

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
IT導入の費用対効果がわからない	18%	19%	16%	16%	16%	15%	17%
コスト負担が大きい	43%	50%	57%	60%	59%	62%	53%
経営層の理解不足	8%	4%	8%	7%	13%	11%	7%
現場社員の理解不足	12%	17%	20%	20%	28%	12%	18%
IT人材不足(推進者・運用者)	31%	39%	50%	51%	61%	61%	45%
自社にあったシステムがわからない	16%	24%	15%	15%	11%	3%	17%
情報漏えい等、セキュリティ面に不安	22%	23%	28%	24%	25%	27%	24%
社員のITリテラシー不足	6%	7%	14%	15%	14%	29%	11%
既存システムからの切替えやデータ移行が困難	16%	15%	19%	25%	29%	35%	20%
自社業務にIT化は必要ない・なじまない	14%	6%	2%	4%	0%	0%	5%
わからない	15%	9%	1%	4%	3%	0%	7%
その他	5%	4%	2%	2%	1%	5%	3%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

5. IT化の一層の推進 (3) IoT、AI等最新技術の活用状況、利用意向

(28) IoT、AI等最新技術の活用状況、利用意向は、それぞれ「導入する予定はない」が最も多いが、特にIoT、AIは「関心があり、今後業務、或いはビジネスに活用したい」と「活用したいが具体的な方法や費用対効果がわからない」が高く、関心の高さが伺える。

(28) IoT、AI等最新技術の活用状況、利用意向 (n=1,006)



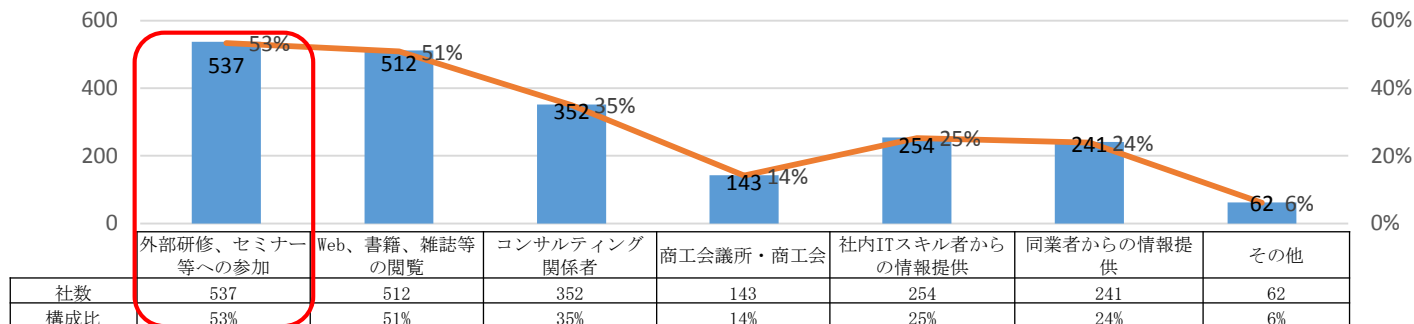
5. IT化の一層の推進 (4) IT推進における情報収集手段

(29) 情報収集手段は「外部研修、セミナー等への参加」が最も多い573社(53%)、次いで「Web、書籍、雑誌等の閲覧」が512社(51%)、「コンサルティング関係者」からが352社(35%)

(29-1) 従業員規模が大きいほど「外部研修、セミナー等への参加」、「社内ITスキル者からの情報提供」が多い。

(29) IT推進における情報収集手段 (n=1,006)

MA



(29-1) 従業員規模別 IT推進における情報収集手段 (n=1,006)

MA

	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
外部研修、セミナー等への参加	30%	44%	60%	67%	74%	88%	53%
Web、書籍、雑誌等の閲覧	50%	48%	51%	43%	59%	70%	51%
コンサルティング関係者 (中小企業診断士・ITコーディネーター・公認会計士・税理士含む)	28%	40%	40%	31%	25%	33%	35%
商工会議所・商工会	18%	20%	11%	8%	10%	2%	14%
社内ITスキル者からの情報提供	16%	18%	31%	30%	33%	47%	25%
同業者からの情報提供	23%	24%	22%	18%	29%	33%	24%
その他	9%	5%	3%	9%	8%	5%	6%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

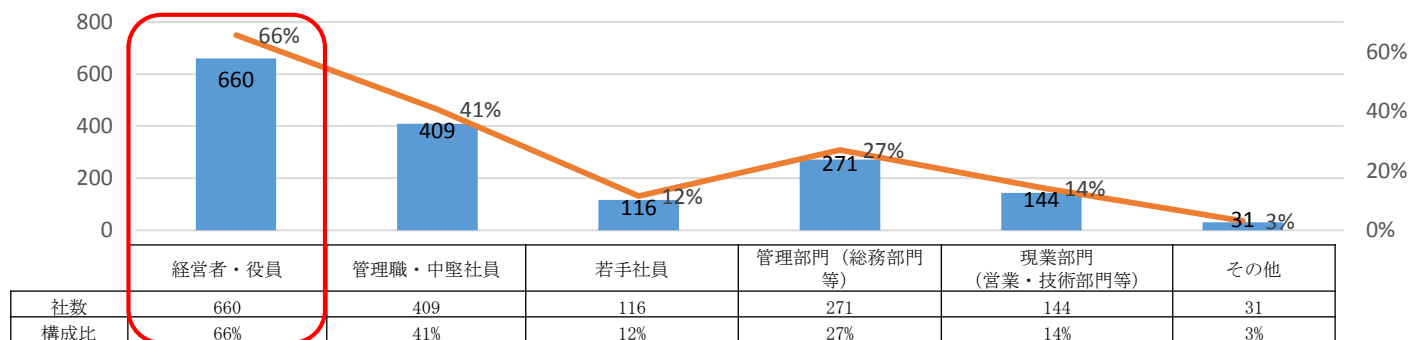
5. IT化の一層の推進 (5) IT化における自社内推進者

(30) IT化における自社内推進者は、「経営者・役員」が最も多い660社(66%)、次いで「管理職・中堅社員」が409社(41%)、「管理部門(総務部門等)」が271社(27%)

(30-1) 従業員数50人までの企業における推進者は「経営者・役員」で7割を超える。

(30) IT化における自社内の推進者 (n=1,006)

MA



(30-1) 従業員規模別 IT化における自社内の推進者 (n=1,006)

MA

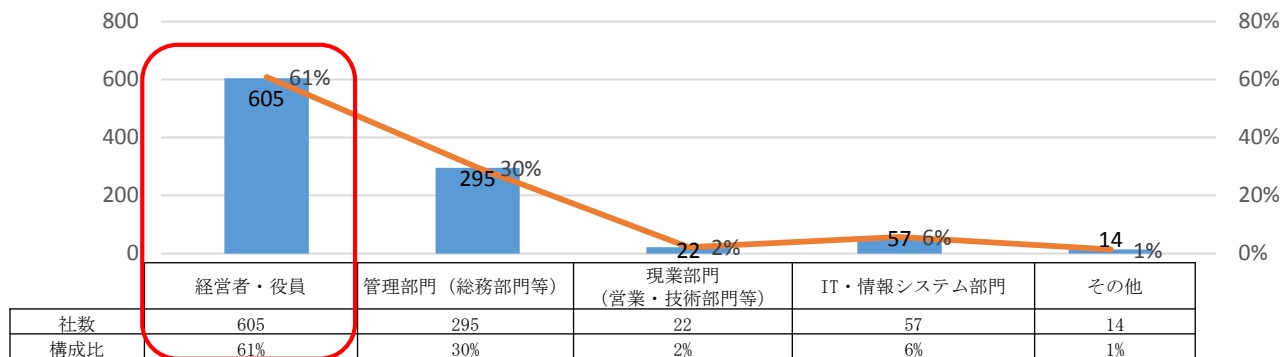
	1~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~300人	301人~	総計
経営者・役員	69%	70%	71%	57%	57%	48%	66%
管理職・中堅社員	14%	41%	45%	57%	54%	56%	41%
若手社員	7%	13%	13%	10%	12%	12%	12%
管理部門 (総務部門等)	6%	17%	31%	45%	52%	58%	27%
現業部門 (営業・技術部門等)	6%	14%	12%	19%	23%	27%	14%
その他	7%	2%	0%	2%	2%	9%	3%
社数	187	336	205	113	99	66	1006

5. IT化の一層の推進 (6) 記入者の所属組織、IT化に向けて行政や会議所に求めること

(31) 記入者の所属組織は、「経営者・役員」が最も多い605社(61%)

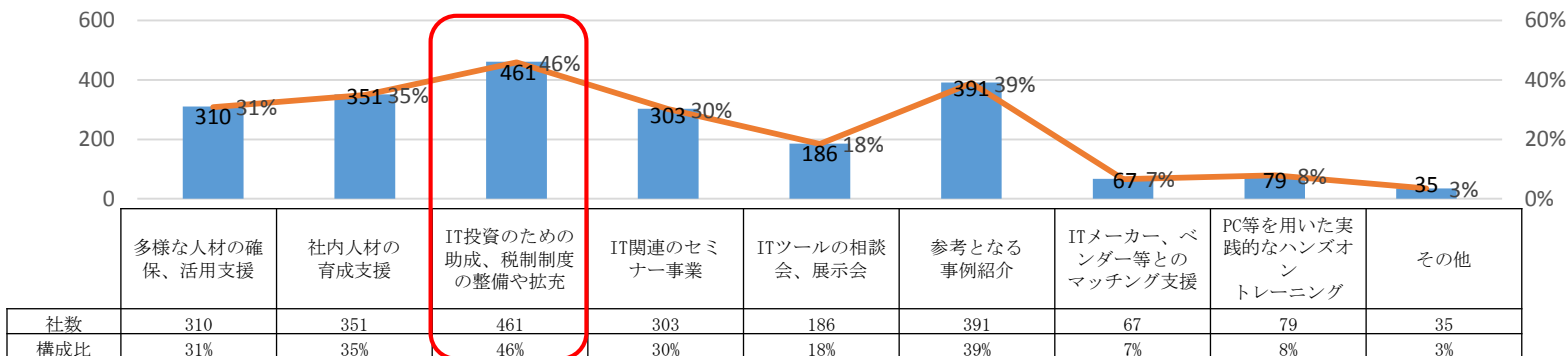
(32) IT化に向けて行政や商工会議所に求めることは、「IT投資のための助成、税制制度の整備や拡充」461社(46%)、「参考となる事例紹介」391社(39%)、「社内人材の育成支援」351社(35%)が上位であった。

(31) 調査票記入者の所属組織 (n=993)



(32) IT化に向けて行政や商工会議所に求めること (n=1,006)

3つまで



名古屋商工会議所 IT活用実態に関するアンケート（調査票兼回答書）

ご回答は該当する番号に「○」をご記入ください。また、最後に自由記述の質問があります。

1. 貴社について

(1) 業種：売上高の最も高い業種を1つご選択ください。

1	製造業	2	建設業	3	卸売業	4	小売業
5	運輸業	6	不動産業	7	飲食業	8	印刷・出版業
9	情報通信・ITサービス業	10	法人向けサービス業	11	個人向けサービス業	12	その他

(2) 資本金：該当する項目を1つご回答ください。

1	500万円以下	2	500万円超～1千万円以下
3	1千万円超～3千万円以下	4	3千万円超～5千万円以下
5	5千万円超～1億円以下	6	1億円超～3億円以下
7	3億円超		

(3) 従業員数：役員を除く従業員数を1つご回答ください。(人材派遣、アルバイトを含まない。)

1	0～5人	2	6～20人	3	21～50人
4	51～100人	5	101～300人	6	300人～

(4) 資本関係のある関連企業：資本関係のある関連企業の有無についてご回答ください。

1	資本関係の関連会社がある	2	資本関係の関連会社はない
---	--------------	---	--------------

(5) 取引企業：売上高の2割を超える主要取引企業の有無についてご回答ください。

1	主要取引企業がある	2	主要取引企業はない
---	-----------	---	-----------

(6) 海外取引：該当するものを1つご回答ください。

1	輸出を行っている	2	輸入を行っている
3	海外に自社の生産・営業拠点がある	4	海外との取引は行っていない

2. 貴社の経営状況と経営課題について

(7) 売上傾向（過去3年間）：該当する項目を1つご回答ください。

1	増加傾向	2	横ばい	3	減少傾向
---	------	---	-----	---	------

(8) 収支状況（経常利益）：前期の決算について1つご回答ください。

1	黒字	2	収支ゼロ	3	赤字
---	----	---	------	---	----

(9) 経営課題：経営課題について、最重要課題と思うものを3つまでご回答ください。

1	既存事業の拡大	2	新分野への参入
3	人材の確保・育成	4	財務基盤の強化
5	販売価格引上げ、コストダウン	6	技術・研究開発の強化
7	新製品・新サービス開発・新規事業の立上げ	8	海外展開
9	後継者の育成・事業承継	10	その他（ ）

(10) 人手不足感：該当するものを1つご回答ください。

1	人手不足を感じている ⇒ (11) へ	2	特に感じていない ⇒ (12) へ
---	---------------------	---	-------------------

(11) 不足している人材：該当するものを1つご回答ください。

1	中核人材（各部門、担当の中核として、高度な業務・難易度の高い業務を担う人材）
2	労働人材（各部門、担当において、比較的定型的な業務を担う人材）
3	IT人材（ITの活用や情報システムの導入を企画、推進、運用を担う人材）

3. IT活用の実態について

(12) 自社公式ホームページの有無：該当するものを1つご回答ください。

1	自社公式ホームページがある ⇒ (13) へ	2	自社公式ホームページはない ⇒ (14) へ
---	------------------------	---	------------------------

(13) ホームページの活用：該当するものを全てご回答ください。

1	定期的に更新している	2	SEO対策（検索エンジン最適化）を実施している
3	アクセス解析を実施している	4	有料のWeb広告を出している
5	楽天、Yahoo!等の他社ECサイトに店出している	6	ブログ、SNS、メルマガ等を活用している
7	会員専用のホームページを運営している	8	何もしていない
9	その他（ ）		

(14) ITツール、サービスの活用状況：該当するものを全てご回答ください。

1	パソコン	2	インターネット接続・電子メール
3	オフィス系ソフト（ワード、エクセル等）	4	社内LAN（無線LAN含む）+サーバー
5	グループウェア（掲示板、スケジュール管理等）	6	スマートフォン・タブレット
7	クラウドサービス	8	ビジネスチャット
9	複合機（コピー+プリンター+スキャナー等）	10	特に利用していない

(15) IT活用の現況：貴社のIT活用の現況について、より近いものを1つご回答ください。

No.	項目	システム環境イメージ（例示）
1	共同利用のIT端末で社内業務が遂行されている	・社員共用パソコンを配備 ・オフィス系ソフト（エクセル、ワード等）の利用 ・インターネット接続及び電子メールの利用
2	特定の部署でITシステムにより社内業務が遂行されている	・特定の部署で社員にパソコンを1台ずつ配備 ・オフィス系ソフト、電子メール、グループウェア（スケジュール管理・掲示板等）の利用 ・部署専用の業務系ソフト（会計ソフト等）を利用
3	全組織で共通ITシステムを活用し、社内業務が横断的に遂行されている	・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用
4	全組織で共通ITシステムを活用し、社内業務が横断的に遂行され、特定部署ではモバイル環境により社内システムが利用できる	・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用 ・特定部署でタブレット、スマートフォンにて外部から社内システムを利用
5	上記[4]の環境に加え、自社内だけでなく取引先や顧客を含め、横断的に業務が遂行されている	・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用 ・特定部署でタブレット、スマホにて外部から社内システムを利用 ・取引企業との共通システムの利用や顧客に対するECサイト等のサービスを提供

(16) 基幹業務のIT化：貴社で利用中のシステムについて該当するものを全てご回答ください。

1	統合基幹業務システム	2	財務会計システム（経営管理を含む）
3	人事・給与システム	4	顧客管理システム（CRMやSFAなど）
5	見積書作成システム	6	発注・仕入管理システム（EDIなど）
7	生産・製造管理システム	8	物流・在庫管理システム
9	研究・開発システム	10	コールセンター等でのCTIシステム
11	POSレジシステム（スマート決済など）	12	利用していない
13	その他（ ）		

(17) 基幹業務システムのクラウドの活用：該当するものを1つご回答ください。

※クラウド：クラウドコンピューティング（Cloud Computing）の略称。データをパソコンやスマートフォン等に保存するのではなく、インターネット上に保存する使い方やサービスのこと。

1	クラウドを活用している ⇒ (18)、(19) へ	2	クラウドは活用していない ⇒ (20) へ
3	よくわからない ⇒ (21) へ		

(18) クラウド活用状況：クラウド活用システムについて該当するものを全てご回答ください。

1	統合基幹業務システム	2	財務会計システム（経営管理を含む）
3	人事・給与システム	4	顧客管理システム（CRMやSFAなど）
5	見積書作成システム	6	発注・仕入管理システム（EDIなど）
7	生産・製造管理システム	8	物流・在庫管理システム
9	研究・開発システム	10	コールセンター等でのCTIシステム
11	POSレジシステム（スマート決済など）	12	その他（ ）

(19) クラウド活用している理由：該当するものを全てご回答ください。

1	資産、保守体制を持つ必要がない	2	初期導入コストが安価
3	どこでもサービスを利用できる	4	既存システムよりも低コスト
5	信頼性が高い	6	システム容量や機能の拡張性が高い
7	サービスラインナップが豊富	8	期間が短く導入でき、いつでも停止できる
9	相談相手、支援者に提案された	10	その他（ ）

(20) クラウド活用していない理由：該当するものを全てご回答ください。

1	情報漏えい等セキュリティに不安がある	2	既存システムの改修や移行コストが高い
3	メリットがわからない、判断できない	4	通信の安定性に不安がある
5	取引先からの承諾を要する	6	カスタマイズができない
7	自社コンプライアンスに支障をきたす	8	その他（ ）

(21) 情報セキュリティ対策（予防対策）の状況：該当するものを全てご回答ください。

1	ウイルス対策ソフトを導入している	2	ウイルス対策ソフトを含めOSやソフトウェアは常に最新の状態にしている
3	ファイアウォール等のセキュリティ対策機器で外部からの侵入を防止している	4	情報資産の重要度をランク付けし管理している
5	情報資産の社外持ち出しを管理している	6	私物パソコンやUSBメモリなどの外部記憶装置の持ち込みを制限している
7	役職や部署に応じてアクセス制御をしている	8	重要なデータファイルにはパスワード設定または暗号化している
9	従業員向けのセキュリティ研修や随時注意喚起を実施している	10	外部セミナー参加による情報収集をしている

(22) 情報セキュリティ対策（事故対策）の状況：該当するものを全てご回答ください。

1	情報管理責任者を配置している	2	セキュリティ事故発生時の対応ルールやマニュアルを整備している
3	情報漏えいや機密データ損失等の情報セキュリティリスクに備え、損害保険を契約している	4	情報漏えい等発生時の対策支援先や相談先を把握している

(23) IT化の契機：該当する項目を全てご回答ください。

1	親会社からの指示	2	取引先からの依頼
3	同業、競合他社が導入していた	4	セミナー参加・雑誌やWeb等で情報を得た
5	ITメーカー・ITベンダー・販売店等からの提案	6	コンサルティング関係者からの助言・提言
7	業務改善や新事業の立ち上げに合わせて	8	既存設備、情報通信機器の更新に合わせて
9	ITは導入していない	10	その他（ ）

(24) IT化における外部支援者・相談者：該当する項目を全てご回答ください。

1	ITベンダー・販売会社（地場・中小企業）	2	ITベンダー・販売会社（全国・大手企業）
3	コンサルティング関係者（中小企業診断士・ITコーディネーター・公認会計士・税理士含む）		
4	商工会議所・商工会	5	行政等の公的機関
6	相談相手はいない	7	その他（ ）

4. IT化への一層の推進について

(25) IT活用の理想像：貴社が目指すIT活用の理想像について1つご回答ください。

No.	項目	システム環境イメージ（例示）
1	共同利用のIT端末で社内業務が遂行されている	<ul style="list-style-type: none"> ・社員共用パソコンを配備 ・オフィス系ソフト（エクセル、ワード等）の利用 ・インターネット接続及び電子メールの利用
2	特定の部署でITシステムにより社内業務が遂行されている	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の部署で社員にパソコンを1台ずつ配備 ・オフィス系ソフト、電子メール、グループウェア（スケジュール管理・掲示板等）の利用 ・部署専用の業務系ソフト（会計ソフト等）を利用
3	全組織で共通ITシステムを活用し、社内業務が横断的に遂行されている	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用
4	全組織で共通ITシステムを活用し、社内業務が横断的に遂行され、特定部署ではモバイル環境により社内システムが利用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用 ・特定部署でタブレット、スマートフォンにて外部から社内システムを利用可能に
5	上記[4]の環境に加え、自社内だけでなく取引先や顧客を含め、横断的に業務が遂行されている	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員にパソコンを配備 ・オフィス系ソフト、グループウェア、共通の業務ソフトを利用 ・特定部署でタブレット、スマホにて外部から社内システムを利用 ・取引企業との共通システムの利用や顧客に対するECサイト等のサービスを提供

(26) IT化自己診断：同業や競合他社と比較した自社のIT活用状況について、該当する項目を1つご回答ください。

1	IT化の水準は高い	2	IT化の水準はやや高い	3	どちらともいえない
4	IT化の水準はやや低い	5	IT化の水準は低い		

(27) ITを導入・活用するうえでの課題：該当するものを3つまで回答してください。

1	IT導入の費用対効果がわからない	2	コスト負担が大きい
3	経営層の理解不足	4	現場社員の理解不足
5	IT人材不足（推進者・運用者）	6	自社にあったシステムがわからない
7	情報漏えい等、セキュリティ面に不安	8	社員のITリテラシー不足
9	既存システムからの切替えやデータ移行が困難	10	自社業務にIT化は必要ない・なじまない
11	わからない	12	その他（ ）

(28) IoT、AI等最新技術の活用状況、利用意向：各項目について該当する箇所に○をご記入ください。

No	項目	既に業務或いは、ビジネスに活用している	関心があり、今後業務、或いはビジネスに活用したい	活用したいが、具体的な方法や費用対効果がわからない	自社では活用する分野がない	導入する予定はない
1	IoT (Internet Of Things)					
2	AI (人工知能)					
3	RPA (Robotic Process Automation) ※パソコン操作を自動化するソフトウェア技術					
4	Fintech					
5	ビッグデータ					

(29) IT推進における情報収集手段：該当する項目を全てご回答ください。

1	外部研修、セミナー等への参加	2	Web、書籍、雑誌等の閲覧
3	コンサルティング関係者（中小企業診断士・ITコーディネーター・公認会計士・税理士含む）		
4	商工会議所・商工会	5	社内ITスキル者からの情報提供
6	同業者からの情報提供	7	その他（ ）

(30) IT化における自社内の推進者：該当する項目を全てご回答ください。

1	経営者・役員	2	管理職・中堅社員	3	若手社員
4	管理部門（総務部門等）	5	現業部門（営業・技術部門等）	6	その他（ ）

(31) 本調査票ご記入者の所属組織について：該当する項目を1つご回答ください。

1	経営者・役員	2	管理部門（総務部門等）	3	現業部門（営業・技術部門等）
4	IT・情報システム部門	5	その他（ ）		

(32) IT化に向けて、行政や商工会議所に求めること：求めることを3つまでご回答ください。

1	多様な人材の確保、活用支援	2	社内人材の育成支援
3	IT投資のための助成、税制制度の整備や拡充	4	IT関連のセミナー事業
5	ITツールの相談会、展示会	6	参考となる事例紹介
7	ITメーカー、ベンダー等とのマッチング支援	8	PC等を用いた実践的なハンズオントレーニング
9	その他（ ）		

5. その他

(33) 自由記述：IT活用の現状や課題、会議所への要望等何でも結構ですのご記入ください。

ご協力いただきありがとうございました。